

～誤嚥性肺炎を地域でどのようにマネジメントするか?～

日時：2019年8月31日 13:00～16:00 (受付 12:30～)

場所：おだわら総合医療福祉会館

内容：

13:00-13:10 はじめの挨拶

13:10-13:40 講演「救急医療における誤嚥性肺炎の現状と課題」

東海大学医学部外科学系救命救急医学 教授 守田誠司

13:40-14:10 講演「誤嚥性肺炎の症例に対する退院支援の現状と課題」

小田原市立病院地域医療連携室 荒井由美子，一藤木延子

14:20-14:50 講演「経口摂取の判断に関する現状と課題」

小田原市立病院リハビリテーション室 言語聴覚士 中山 滋

15:00-16:00 フリーディスカッション

司会 小田原市立病院リハビリテーション室 小澤哲也

16:00-16:10 終わりの挨拶

16:30～ 懇親会

近年肺炎の患者数は増加の一途をたどっており、将来的には入院患者の第1位になると予想されています。その中でも誤嚥性肺炎はリハビリテーション、地域連携という観点から非常に多くの課題を抱えているのではないのでしょうか。入院前から嚥下機能が低下していると、なんらかのきっかけで誤嚥性肺炎を発症し、病院に入院することになります。病院では肺炎の治療が行われますが、誤嚥性肺炎の原因である嚥下機能が十分に回復しない場合も多く、食形態の調整や、退院先などの決定に難渋するケースが少なくないのが現状です。また、食形態や日常生活活動（ADL）に応じた退院先を調整するだけでは本当の意味でのリハビリテーションを提供しているとは言えないかもしれません。本来は、患者や家族が望む生活、「食べる」ということ、「その人らしく生きる」ということをもっと考えていく必要があるのかもしれません。

これらのことを考えていくためには、誤嚥性肺炎の治療を行う急性期病院から回復期病院、また在宅の医療に関わる人たちが連携することが重要になります。また、今回の研修会は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士だけでなく、医師、看護師、ケアマネージャ、社会福祉士、栄養士など、誤嚥性肺炎の患者に関わる多職種が集まり、想いを共有する機会を作りたいと思います。フリーディスカッションの時間を十分に確保しているので、是非皆さんの声を聴かせて下さい。

参加費：

県西地区連絡協議会会員 - 500円 非会員 - 3000円※ 学生 - 無料 ※当日の入会の場合、会費2,000円（※2019年分として）。懇親会は小田原駅周辺で行います。会費は5,000円を予定しています。お時間のある方は是非ご参加下さい。

申し込み方法：

申し込みフォームから必要事項を埋めてお申し込み下さい。

申し込みフォーム：<https://goo.gl/forms/tviDOrYF6wKINIVy1>

県西リハ HP 内の 特別研修会からアクセスすることもできます。

HP：<https://kenseireha.jimdo.com/>

※1：準備の関係上、申込受付は8/24（土）までとさせていただきます。

※2：こちらから申込に対する受付を示す返信メールは致しません。ご了承ください。

ポイントについて：

PT：内部障害理学療法専門分野5ポイント取得できます。

OT：SIG団体認定ポイント取得できます。参加証を発行致します。

問い合わせ先：

小田原市立病院 リハビリテーション室 小澤祐治

〒250-8558 神奈川県小田原市久野 46 番地

TEL: 0465-34-3175 FAX: 0465-34-3179

Email: oyuji15★gmail.com （お問い合わせは★を@に変えてお願いします）

みらい堂整体院 院長 進藤隆